

# 平成27年度「研究大学強化促進事業」フォローアップ 進捗状況概要（案） ○○大学

公表

以下の項目について、記載してください。

資料4

- ・目的
- ・これまでの進捗状況・実績
- ・今後の展望と課題

※本資料は、公表することを前提とし、分かり易い表現で、簡潔に記載してください。

※概要は1枚に収めてください。

※文字のフォント、ポイント、行数（枠の高さを変更いただいて結構です。）、文章量は自由です。

※図・表・写真等(カラー可)を使用し、分かりやすく表現してください。

## 目的

- ・
- ・
- ・

## これまでの進捗状況・実績

- ・
- ・
- ・

## 今後の展望と課題

- ・
- ・
- ・

### 平成27年度「研究大学強化促進事業」進捗状況報告書(案)

非公表

機関名					
統括責任者	役職		実施責任者	部署名・役職	
	氏名			氏名	

※ 本報告書は、平成27年8月1日現在 (※右欄の表は指示する時点) で作成してください。(必要に応じて行・枚数を追加)

※ 1. ~5. については、左欄に「研究力強化実現構想」の【応募時】の内容を転記し、右欄に【実績/進捗状況】を記載してください。

※ 6. については、左欄に「審査結果コメント(「研究力強化実現構想」に対するコメント、今後の研究力強化への取組に当たり、配慮いただきたい点)」の【コメント】の内容を転記し、右欄に【対応】を記載してください。

※ 7. については、「大学改革等の動向」を踏まえた【今後の対応】を記載してください。

※ 過去に、URA事業「リサーチ・アドミニストレーターを育成・確保するシステムの整備」の事業進捗状況評価・審査を受けた場合は、末尾にその結果を添付してください。(該当機関のみ)

1. 「実現構想の推進体制」の進捗状況について	
【応募時】 ※実現構想「3... 実現構想の推進体制」の内容を転記	【実績/進捗状況】

## 2. 「研究力強化の方針」の進捗状況について

【応募時】 ※実現構想「4. これまでの取組状況と、研究活動の状況分析を踏まえた研究力強化の方針」の内容を転記

## 【審査の観点】

- これまでに、研究力向上に資する大学院改革に関する取組や、人材登用、国際化、研究推進体制の改革に関する取組を積極的に行ってきたか。
- 機関が自ら行う研究活動の強み・弱みや課題等の状況分析（人材登用、国際化、研究分野、研究推進体制等の分析）の結果を踏まえた方針となっているか。
- 5年度目、10年度目の目標も含んだ機関全体の研究力強化の方針となっているか。
- 研究活動の状況分析、本補助事業を含む研究力強化の取組の進捗状況や成果等について、積極的な情報発信を行う内容となっているか。

## 【これまでの取組状況と研究活動の状況分析】

## ◆基本情報（教員数）

平成 20 年 5 月 1 日現在

	本務者		兼務者	
	人数	割合	人数	割合
教員数	人		人	
うち女性教員数	人	%	人	%
うち若手教員数(※)	人	%	人	%
うち外国人教員数	人	%	人	%

※平成 20 年 4 月 1 日現在で 39 歳以下の教員

平成 24 年 5 月 1 日現在

	本務者		兼務者	
	人数	割合	人数	割合
教員数	人		人	
うち女性教員数	人	%	人	%
うち若手教員数(※)	人	%	人	%
うち外国人教員数	人	%	人	%

※平成 24 年 4 月 1 日現在で 39 歳以下の教員

## 【実績/進捗状況】

## 【これまでの取組状況と研究活動の状況分析】

## ◆基本情報（教員数）※学校基本調査に使用したデータ→平成 27 年 5 月 1 日現在

	本務者		兼務者	
	人数	割合	人数	割合
教員数	人		人	
うち女性教員数	人	%	人	%
うち若手教員数(※)	人	%	人	%
うち外国人教員数	人	%	人	%

※平成 27 年 4 月 1 日現在で 39 歳以下の教員

◆基本情報（学生数） 平成 20 年 5 月 1 日現在

	大学		大学院	
	人数	割合	人数	割合
学生数	人	/	人	/
うち留学生数	人	%	人	%

平成 24 年 5 月 1 日現在

	大学		大学院	
	人数	割合	人数	割合
学生数	人	/	人	/
うち留学生数	人	%	人	%

【研究力強化の方針】

【広報】

◆基本情報（学生数）※学校基本調査に使用したデータ→平成 27 年 5 月 1 日現在

	大学		大学院	
	人数	割合	人数	割合
学生数	人	/	人	/
うち留学生数	人	%	人	%

【研究力強化の方針】

【広報】

3. 「研究力強化の方針に基づき取り組む制度改革等」の進捗状況について

【応募時】 ※実現構想「5. 研究力強化の方針に基づき取り組む制度改革等」の内容を転記

【審査の観点】

- ・「4. これまでの取組状況と、研究活動の状況分析を踏まえた研究力強化の方針」に記載した研究活動の強み・弱みや課題等の状況分析の結果を踏まえた研究力強化の方針に即した内容となっているか。
- ・人事規則等の関係規程の見直し、能力等に応じた処遇、年俸制の導入など、研究力強化に資する人事労務制度の改革に向けた取組内容となっているか。
- ・大学院教育の改革、若手・女性研究者の確保、国際公募の導入・拡大、産業界との連携など、研究力強化に資する人材確保に向けた取組内容となっているか。

【これまでの取組状況】

【今後の取組内容】

【実績/進捗状況】

- ・制度改革等の進捗状況に含めて、学内配分の重点配分等の取組・考え方等についても記載してください。

【これまでの取組状況】

【今後の取組内容】

4. 「研究力強化の方針に基づき取り組む事業《Aメニュー》」の進捗状況について  
(研究戦略や知財管理等を担う研究マネジメント人材群の確保・活用に関する取組)

【応募時】※実現構想「6. 研究力強化の方針に基づき取り組む事業《Aメニュー》」の内容を転記

【審査の観点】

①研究力強化の方針との関係

・「4. これまでの取組状況と、研究活動の状況分析を踏まえた研究力強化の方針」に記載した研究活動の強み・弱みや課題等の状況分析の結果を踏まえた研究力強化の方針に即した内容となっているか。

②URAの雇用計画とその活動

・URAの雇用計画(雇用・配置する人数や部署など)、整備する組織とその構成は、実現性が高く、機関における研究環境の改革が期待できる内容となっているか。

・URAが従事する職務内容と活動内容(特にURA組織のチームとしての活動)は、実現性が高く、機関における研究環境の改革が期待できる内容となっているか。

・URA事業を実施している機関においては、URA事業による取組と相互連携し、当該取組の成果を効果的に活用する内容となっているか。

・補助事業終了後の継続(補助事業期間終了後の展開や、URA人材の中長期的な人事労務構想、継続実施するための経費を含む)を見据えた内容となっているか。

③URAの職務環境等の整備

・URAの業務に必要な環境整備(キャリアパス、「URA」職種の整備、雇用・選考等人事労務関係条件の整備、URAのスキル向上のための取組等)の内容は、実現性が高く、URA組織の体制整備に資する内容となっているか。

【これまでの取組状況】

◆現在、配置しているURA等の人数

職種	URA事業(※)	自主財源
シニアURA	人	人
URA	人	人
類似業務を行う職	—	人

※URA事業を実施していない機関は、「—」を記入してください。

【実績/進捗状況】

・実際の採用状況を踏まえ、内部登用の考え方、URAの具体的な業務、採用者のバックグラウンドなどを含め、実績や進捗状況を記載してください。

【これまでの取組状況】

◆現在、配置しているURA等の人数

平成27年8月1日現在

職種	研究大学強化促進費	自主財源等その他経費
シニアURA	人	人
URA	人	人
類似業務を行う職	人	人

## 【今後の取組内容】

## ◆URA配置計画人数

年度	種別	研究大学強化促進費	URA事業(※)	自主財源
H25	シニア URA	人	人	人
	URA	人	人	人
H26	シニア URA	人	人	人
	URA	人	人	人
H27	シニア URA	人	人	人
	URA	人	人	人
H28	シニア URA	人	人	人
	URA	人	人	人
H29	シニア URA	人	人	人
	URA	人	人	人

※URA事業を実施していない機関は、「-」を記入してください。

## 【今後の取組内容】

## ◆URA配置実績

年度	種別	研究大学強化促進費	URA事業(※)	自主財源
H25	シニア URA	人	人	人
	URA	人	人	人
H26	シニア URA	人	人	人
	URA	人	人	人

※URA事業を実施していない機関は、「-」を記入してください。

5. 「研究力強化の方針に基づき取り組む事業《Bメニュー》」の進捗状況について  
(Aメニューと効果的に組み合わせて実施する、その他の研究環境改革の取組)

【応募時】※実現構想「7. 研究力強化の方針に基づき取り組む事業《Bメニュー》」の内容を転記

【審査の観点】

①研究力強化の方針との関係

・「4. これまでの取組状況と、研究活動の状況分析を踏まえた研究力強化の方針」に記載した研究活動の強み・弱みや課題等の状況分析の結果を踏まえた研究力強化の方針に即した内容となっているか。

②研究環境改革の取組内容

・機関としての取組実績を踏まえた、研究環境改革に向けた意欲的な内容となっているか。(機関内で既に実施しているシステム改革事業における評価や進捗状況を踏まえた改善状況も勘案する。)

・《Aメニュー》の取組を効果的に活用する内容となっているか。

・補助事業終了後の継続(補助事業期間終了後の展開や継続実施するための経費を含む)を見据えた内容となっているか。

【これまでの取組内容】

◆科学技術システム改革関連事業との関係

補助事業名	実施の有無	事業開始年度	事業終了年度
テニユアトラック普及・定着事業			
旧「若手研究者の自立的な研究環境整備促進」			
ポストドクター・キャリア開発事業			
旧「イノベーション創出若手研究人材養成」			
旧「ポストドクター・インターンシップ推進事業」			
女性研究者研究活動支援事業			
旧「女性研究者支援モデル育成」			
女性研究者養成システム改革加速事業			
実践型研究リーダー養成事業			

【実績/進捗状況】

【これまでの取組内容】

◆科学技術システム改革関連事業との関係

平成 27 年 8 月 1 日現在

補助事業名	実施の有無	事業開始年度	事業終了年度
テニユアトラック普及・定着事業			
旧「若手研究者の自立的な研究環境整備促進」			
ポストドクター・キャリア開発事業			
旧「イノベーション創出若手研究人材養成」			
旧「ポストドクター・インターンシップ推進事業」			
女性研究者研究活動支援事業			
旧「女性研究者支援モデル育成」			
女性研究者養成システム改革加速事業			
実践型研究リーダー養成事業			



※上表に事業名が記載されている科学技術システム改革関連事業以外にも、関係する他の補助事業がある場合は、以下の表に補助事業名を記載し、○印を付け、事業開始年度・終了年度を記載してください。(特にない場合は、表を削除してください。)

補助事業名	実施の有無	事業開始年度	事業終了年度

【今後の取組内容】

※上表に事業名が記載されている科学技術システム改革関連事業以外にも、関係する他の補助事業がある場合は、以下の表に補助事業名を記載し、○印を付け、事業開始年度・終了年度を記載してください。(特にない場合は、表を削除してください。)

補助事業名	実施の有無	事業開始年度	事業終了年度

【今後の取組内容】

6. 「審査結果コメント」への対応について

【コメント】※審査結果コメント(「研究力強化実現構想」に対するコメント、今後の研究力強化への取組に当たり、配慮いただきたい点)の内容を転記

「研究力強化実現構想」に対するコメント

事業の実施に当たり、配慮いただきたい点

【対応】

「研究力強化実現構想」に対するコメント

事業の実施に当たり、配慮いただきたい点

7. 「大学改革等の動向」を踏まえた今後の対応について

【今後の対応】

【添付】 URA事業「リサーチ・アドミニストレーターを育成・確保するシステムの整備」事業進捗状況評価・審査結果

※過去に「リサーチ・アドミニストレーターを育成・確保するシステムの整備」推進委員会（以下「推進委員会」という。）において行う「リサーチ・アドミニストレーターを育成・確保するシステムの整備」（リサーチ・アドミニストレーションシステムの整備）事業（以下「URA活用・育成支援事業」という。）の事業進捗状況評価を受けた場合は、その結果を添付してください。（該当機関のみ）